



覚満淵通信

赤城山の自然保護

活動推進協議会

第 4 号

発行日 2014 年 3 月 15 日

【2013 年度のササ刈り活動報告】

今年 2 月の豪雪で道路脇には 2 m の雪の壁ができた赤城山ですが、日に日に雪も減り、温かな春の日差しも感じる今日この頃です。

覚満淵は、まだ多くの残雪に湖面の氷すら見る事はできませんが、周囲のヤマツツジの冬芽が少し膨らみ始め、近づく春を心待ちに過ごす日々が続いております。

2013 年 5 月 19 日には 153 名、11 月 10 日には過去最多参加人数の 244 名のボランティアの皆さんにご協力頂き、赤城山覚満淵の植生復元作業「ササ刈り作戦」がおこなわれました。回を重ねるごとに参加者が増えており、環境保全活動にご理解を頂く皆さんが増えている事に喜びを感じつつ、心から感謝いたします。

さらに昨年は、ニッコウキスゲの開花時期である 7 月 20 日に、覚満淵の自然観察会をおこないました。ササ刈り作戦にご協力頂いた方が観察会に参加されており、自らがササを刈り取った場所に咲いたニッコウキスゲを見て「感無量」と言われていました。覚満淵は多くの皆さんの努力で、身近でありながら魅力的な自然環境に戻りつつあります。4 年目となる 2014 年も、みなさんの力で覚満淵に多くの花を咲かせましょう！



刈り取ったササの分解が遅く、草花の成長の阻害になることがわかってきました。秋のササ刈りでは、搬出チームを中心に大量のササ、ススキを運搬しました。ススキは今回も(株)サンデンフォレストさんの御協力でチップパーで粉碎処理し、遊歩道に敷き詰め、土壌流出対策をしました。



5 月 19 日 第 5 回ササ刈りの参加者



11 月 10 日 第 6 回ササ刈りの参加者



Save Japan プロジェクトのご支援を頂くとともに、多くの損保ジャパン・興亜損保の関係者の方々にご参加頂きました！

2014 年度もよろしくお願ひします！

◆2014年度の活動予定◆

7月13日(日) ススキの株割り実験と草刈り(定員20名まで)

7月20日(日) 自然観察会(定員100名まで)

11月9日(日) 第7回ササ刈り作戦

これまでの状況を踏まえて、「ササ刈り作戦」は今年は秋季1度の作業に変更となります。
イベントの詳細は改めて協議会からご連絡致しますので、ぜひご参加をお願いいたします!

【覚満淵周囲の防鹿柵の管理作業】

覚満淵はシカの食害から植物を守るために、周囲を2mの高さのネットで囲っています。今年度はササ刈り参加者、地元にお住まいの皆さんにとともに点検、補修を行いました。また、定期的なメンテナンスとして20回の保守作業を行い、シカの侵入防止に細心の注意をはらい維持管理を行ってきました。出入口からシカが侵入しないよう、しっかりした閉鎖にご協力をお願いします。

また、大雪の影響で、柵が倒壊しておりますので、関係者の皆さまにおかれましては、雪融け後の補修にもご協力をお願いいたします。

第6回ササ刈りの時の「防鹿柵保守作業班」重い補修道具を持ちつつ、ササの生い茂る斜面を歩きながら補修作業をしました



【覚満淵の花々】

昨年は春先の干ばつの影響を受けてか、若干少なかったニッコウキスゲの花ですが、背丈の高い草花の間に、ひっそりと出番を待つニッコウキスゲの小さな株を多く確認できるようになってきました。ニッコウキスゲは芽生えから数年間、花を咲かせるために株を大きくして力を蓄えるそうです。4年目を迎えるササ刈りの効果が見られるようになる事を、ご協力頂いている皆さんと一緒に楽しみに待ちたいと思います。覚満淵ではニッコウキスゲ以外にも、春から秋まで様々な花々を見る事ができますので、季節とともに変わりゆく花や風景を見ながら散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。



7月20日 自然観察会では、ニッコウキスゲの他にノハナショウブ等の多くの夏の花を見る事ができました



6月18日 ササ刈りをした場所で沢山の花を付けたレンゲツツジを見かけました



11月6日 秋の台風にも負けず、ズミが真っ赤な実を沢山実らせました

作成者 春山明子(群馬県野生動物事務所)、坂庭浩之(群馬県林業試験場)

発行元 NPO 法人赤城自然塾

表題の写真: ノハナショウブ(2013年は多くの花を見かけました)

